



羅針盤

*9月は 涼風、うろこ雲。一年で一番気持ちの良い季節を想像しますが、台風が多いのも9月です。秋台風は速度が速く、その台風は秋雨前線が刺激されて豪雨となり、各地で土砂災害や河川など氾濫が起きると紹介されています。しかし今年には梅雨明け過ぎから線状降水帯が西日本を襲いました。地球温暖化の影響との説が有力で、原因の一つが人間の活動によるものと国連でも断定されました。対策としては「CO2等温室効果ガス」を削減する方法が種々提案されています。その状況下の今、コロナ禍の流行に各国が色々な行動規制を課した結果、2020年の温室効果ガスや人為起源の大気中に浮遊する微粒子の排出量は、前年比で産業革命以降最も大きく減少していると気象庁気象研究所他のプレスリリースがありました。それほど強い行動規制が無ければ温暖化は進むという事でしょう。コロナ禍で進歩したデジタル技術を生かして、経済活動を維持しながら地球温暖化の進行を緩める方策が早く開発される事を祈ります。私たち自身も意識を持ちましょう。

Market Forecasts by Y. san - 9月 -

8月予測の自己評価 鉄スクラップ:○ 銅:× アルミ:×

鉄スクラップ

銅

アルミ

産業廃棄物

8月の指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格は49,000円/トンでスタートし、7日、28日と下がり28日時点で48,000円/トン。9月は、19日の関東鉄源協同組合の輸出入札の落ち価格の下落や新型コロナの感染再拡大から考えるとまだまだ下がる要素ある中でも、鋼材需要の好調さから考えると横ばいと思われる。

8月はLME9,430ドル/トン、国内銅建値1,110,000円/トンでスタートし、8日に国内銅建値20,000円/トン10日に10,000円/トン下がり、13日に10,000円/トン上げ、28日時点では1,070,000円/トン。9月は円高傾向であり米国の量的緩和縮小観測を考えるとさらに下がるでしょう。

8月はLM2,490ドル/トンからスタートし、最終的にはLME2,650ドル/トンでした。現状は上物、スソ物共に、横ばい。9月に至っては大手自動車メーカーが生産を大幅に減らすという報道から下がると考えられます。

廃棄物は、三菱地所がオフィス家具の再利用事業を本格的に始めるなど今まで廃棄やスクラップになっていた者が手をかけて製品として販売される動きが強くなっています。コロナの影響で廃棄物の発生が減っている中で中古売却が増えれば、すべてゴミとして処分費を取っている業者はかなり厳しくなるでしょう。

Topics

広域認定制度

今回は、廃棄物となった自社製品を回収して、リサイクルをする広域認定制度について環境省の資料を基にご紹介いたします。

本制度は、廃棄物となった製品を、その製品の製造業者等*が自ら広域的に行うことにより、当廃棄物の減量その他の適正な処理が確保されることを目的として、廃棄物処理業に関する法制度の基本である地方公共団体毎の許可を不要とする特例制度です。

よって、産業廃棄物や一般廃棄物の収集運搬業と処分業の許可が不要となります。また、原則として、マニフェストの運用も不要となります。

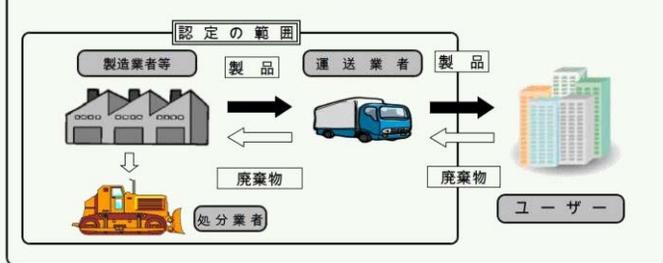
ただし、廃棄物処理施設の設置の許可は必要です(廃棄物処理法における施設の基準に適合する必要があります)ので、ご注意ください。なお、通常の運搬過程で容易に腐敗する等による生活環境の保全上の支障が生ずるような廃棄物は対象となりません。

*製造事業者等：当該製品の製造、加工、販売等の事業を行う者です。

【申請の対象者】

申請対象者は、主に製品の製造・加工事業者を想定しています。輸入製品などの販売のみを行っている事業者については、本制度の目的を達成できる場合に限り申請の対象としています。また、法人・個人ともに本制度の対象となります。しかし、自社の製品以外の廃棄物については、原則として本制度により処理することはできません。なお、申請者である製造事業者等が、当該廃棄物の処理の一部又は全部を他に委託して行う場合も本制度の対象となります。

概念図



【認定に係る主な考え方】

- ◎ 廃棄物の処理を製造事業者等が行うことにより、処理に係る廃棄物の減量その他その適正な処理が確保されるものであること。
- ◎ 廃棄物の処理を行う者(委託を受けて処理を行う者を含む)の事業の内容が明らかであり、かつ、当該者に係る責任の範囲が明確であること。
- ◎ 一連の処理行程を統括して管理する体制が整備されていること。
- ◎ 処理行程において廃棄物処理基準に適合しない処理が行われた場合において、生活環境に係る被害を防止するために必要な措置を講ずることとされていること。

Series

私のふるさと(2)



総務人事部 打田 明絵

こんにちは、総務人事部の打田です。原稿作成時点ではまだまだ暑い日が続いています。長引くコロナ禍に加えて、酷暑に豪雨…出かける気分になれず、つつい家でごろごろして過ごしてしまいました。年々暑さに弱くなっている気がします。

さて、2回目となる今回は生まれ故郷の三重県についてお話しさせていただきます！前回お話ししたような出身地の話題になると、「三重ってどの辺だっけ？何が有名？」と聞かれることが多いです。皆様はどのようなイメージをお持ちでしょうか？

三重県は日本のほぼ中央の太平洋側にある県です。南北に細長く、地域によって名古屋寄りだったり大阪などの関西寄りだったり文化や方言も様々ですから、同じ三重出身でも、人によって異なる印象を持つかもしれません。

名産品や観光名所は松阪牛、伊勢海老、長島スパーランドなどなど、挙げれば実は色々あるのですが、一番印象が強いのは伊勢神宮だと思っています。伊勢神宮についての説明は割愛させていただきますが、なんとなく雰囲気が好きで、帰省すると車で1時間以上かけて出かけています。隣接する「おかげ横丁」で名産品の食べ歩きをしたり、年末年始には24時間参拝可能となるので夜に行ってみたり、楽しみ方はたくさんです。

あとは赤福餅が有名でしょうか。日持ちしないのが難点ですが、喜ばれるお土産ナンバーワンだと思っています！また、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、赤福の店舗に行くとき夏は赤福氷、冬は赤福ぜんざいが食べられるのです。実は、これを楽しみに伊勢まで出かけるのが打田家の恒例行事なのです。赤福はまあ1個食べれば満足…な私でも何度でも食べたくなるものなので、赤福が好きな方には本当におすすめしたいです！

今、原稿作成のために赤福のホームページを見ていたところ、冷やしぜんざいなんてものが販売されていることを知りました！もう時期が終わってしまっていたので、タイミングを合わせて食べに行きたいと思います。

空港がなければ新幹線の停車駅もなく(リニアを誘致する予定らしいですが、どうなるのでしょうか…気長に待ちたいと思います)、なかなか行きづらい場所ではありますが、美味しいものも綺麗などところもたくさんあります。機会があったら是非足を運んでみてください。

- ◎ 処理を他人に委託して行う場合にあつては、経理的及び技術的に能力を有すると認められる者に委託するものであること。
- ◎ 二以上の都道府県の区域において廃棄物を広域的に収集することにより、廃棄物の減量その他その適正な処理が確保されるものであること。
- ◎ 再生又は再生がされないものにあつては熱回収を行った後に埋立処分を行うものであること。